

2024年度 アグリコクーン 国際農業と文化フォーラムグループ ガイダンス

国際農業と文化 FG 長 溝口 勝

農学国際専攻は、産学官民連携型農学生命科学研究インキュベータ機構(アグリコクーン)で、「国際農業と文化フォーラムグループ」を主催しています。農林水産業を地域の文化を形成する核であると位置づけ、「生産は文化によって支えられている」というコンセプトが、本フォーラムグループ(FG)の活動理念です。「国際農業と文化ゼミナール」では「環境と農業」「農業と資源」「経済と食品流通」の3つのテーマの集中講義と、教員とのディスカッションで農業と文化への理解を深めます。「国際農業と文化実習」では、国内実習により日本の農家と農村について体験的に理解を深めた上で、アジア途上国における実習により、地域における問題の把握やそれらの問題解決のためのプロジェクト形成について経験を積みます。

国際農業と文化 FG 講義・実習科目

「国際農業と文化ゼミナール」(研究科共通科目：2単位)

- ・集中講義

「国際農業と文化実習」(研究科共通科目：4単位)

- ・国内実習「日本の農家を知る」
- ・海外実習

※ 海外実習参加の応募書類は、農学国際専攻 Web サイト(<https://www.ga.a.u-tokyo.ac.jp/>)の「学生の方へ」→「書類等のダウンロード」ページに掲載してあります。

国際農業と文化 FG FAQ

Q1：「国際農業と文化ゼミナール」と「国際農業と文化実習」は、両方とも履修する必要がありますか？

A1：「国際農業と文化ゼミナール」は独立して履修することができますが、「国際農業と文化実習」を履修するためには「国際農業と文化ゼミナール」を履修する必要があります。Q3/A3 を参照してください。

Q2：「国際農業と文化実習」の国内実習だけ参加することはできますか？

A2：国内実習の参加人数によっては可能な場合もあります。国内実習担当教員に問い合わせてください。ただし、国内実習のみ参加する場合は「国際農業と文化実習」の単位を修得することはできません。

Q3：「国際農業と文化実習」の海外実習だけ参加することはできますか？

A3：できません。「海外実習」参加のためには、①「海外における安全管理論」を履修、②「国際農業と文化ゼミナール」を履修、③応募書類提出、④面接と準備会合に参加、⑤国内実習「日本の農家を知る」に参加、することが必要です。

Q4：「国際農業と文化実習」の海外実習は、農学国際専攻の「農学国際実地研究Ⅰ」として認められますか？

A4：このふたつは別科目のため、認められません。

国際農業と文化ゼミナール集中講義

日時：6月7日（水）～6月9日（金）

URL: <https://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/lecture/ia+cl/2024.html>

プログラム（予定）

1日目（6月5日）「環境と農業」

10：25～12：10 土と水（溝口）

13：00～14：45 世界の稲作1（中西）

14：55～16：40 世界の稲作2（加藤）

16：50～18：35 総合討論「環境と農業」（司会：溝口、中西、加藤）

2日目（6月6日）「農業と資源」

10：25～12：10 動物資源利用（松本）

13：00～14：45 水産資源利用（八木／阪井）

14：55～16：40 植物資源利用（秋山）

16：50～18：35 総合討論「農業と資源」（司会：松本、八木／阪井、秋山）

3日目（6月9日）「経済と食品流通」

10：25～12：10 日本とアジアの食文化と食品産業（荒木）

13：00～14：45 アジアの経済（佐藤）

14：55～16：40 総合討論「経済と食品流通」（司会：荒木、佐藤、溝口）

16：50～18：35 国際農業と文化実習オリエンテーション（海外実習参加者）

2024年4月

国際農業と文化実習（国内実習「日本の農家を知る」）ガイダンス

担当教員：荒木徹也、中西啓仁

1. 実習のねらい：NPO「古瀬の自然と文化を守る会」の活動を手伝いつつ、会員および非会員農家や協力者から話を聞き、日本の農家と農村について体験的に理解を深める。

2. 実施日程

日帰り実習：田植え、茅葺屋根葺き替えなど、その時々の農作業に参加する。5月以降に行う日帰り実習に、2回以上参加すること。

- アクセス：関東鉄道常総線小絹駅（新守谷駅の場合もあり）前9:35集合。小絹（新守谷）までは、北千住からつくばエクスプレス区間快速で守谷着、関東鉄道常総線に乗り換えて2つ目（1つ目）。

【都合により集合場所を変更の場合は、改めて連絡する】

- 持参品・服装：飲み物、軍手、タオル、着替えを持参。服装は、帽子、長袖、長ズボンで汚れても良いもの、靴は運動靴など汚れても良いもの。

- 申し込み：4月19日（金）までに、下記事項をメールで送付：

メールのタイトル：日本の農家を知る実習 参加申込

氏名

所属・学年

本人電話・メール連絡先

家族など緊急時電話連絡先と続柄

その他、特記事項

送付先：荒木徹也（aarak@ecc.u-tokyo.ac.jp）

3. 事前準備：「古瀬の自然と文化を守る会」（<http://furuseno.fureai.or.jp/>）の活動について、予め調べておく。

4. 緊急時連絡先：荒木徹也（090-8675-7153）

April, 2024

Program: *Getting to know the Japanese farmers*

Supervisors: T.Araki, H. Nakanishi

1. Objectives

to learn how the Japanese farmers are maintaining the farming community in urbanizing society and
to learn how the farmers-based NPO is serving environmental education for children and grown-ups.

2. Schedule

Day trip: Must join on at least two of five dates scheduled for a period from May to early July (the dates to be fixed soon).

To attend the day trip, email to: aaraki@g.ecc.u-tokyo.ac.jp by 19 (Fri) April 2024.

3. Activities

to join the activities of an NPO: 'Furuse no kai', which was established by the local farmers mainly for environmental education.

4. Transportation and meeting time

Meeting at Kokinu (or Shin-Moriya) Station 9:35. Take a Tsukuba Express train at Kita-Senju, transfer to Kanto Tetsudo Joso Line at Moriya, and get off at the second (first) stop: Kokinu. (Shin-Moriya)

5. Preparation

Bring a bottle of water, towel and a cap. Be prepared to work in the farmers' fields. You may change clothes in a locker room at the site. Lunch will be prepared by the participants at the study site.

6. Contact

Send email to Araki at aaraki@g.ecc.u-tokyo.ac.jp, or call 090-8675-7153 in case of an urgent need.

国際農業と文化実習（海外実習）ガイダンス資料

1. 実習計画

場所：インドネシア（ウダヤナ大学およびその近郊）

日程（未定）：第1候補が2025年2月～3月、第2候補が2024年9月中～下旬

旅程（未定だが、参考までに2019年度の実績を以下に記す）：

1日目：成田または羽田発デンパサール着（現地集合）	（ホテル泊）
2日目：ウダヤナ大学で学術交流・講義	（ホテル泊）
3日目：フィールドでの実習	（ホテル泊）
4日目：フィールドでの実習	（ホテル泊）
5日目：フィールドでの実習	（ホテル泊）
6日目：フィールドでの実習	（ホテル泊）
7日目：フィールドでの実習	（ホテル泊）
8日目：最終プレゼンテーションの準備	（ホテル泊）
9日目：学生による発表とディスカッション	（ホテル泊）
最終日：デンパサールで現地解散（成田または羽田着）	

旅費：諸条件により変動するが、目安としては以下の通り

航空券 以下の情報を参考にし、各自で購入すること。

HIS 海外格安航空券個人向けの東京ージャカルタ1回乗継便を利用すればマレーシア航空（クアラルンプールで乗継）が7万円台。LCC であればより安く、通常のキャリアや直行便はより高い。

宿泊費 30,000円前後

食事 20,000円前後

その他（お土産代など）

2. 履修要件（下記すべてを満足すること）

- (1) 「海外における安全管理論」を履修
- (2) 「国際農業と文化ゼミナール」を履修
- (3) 「日本の農家を知る」実習に参加
- (4) 応募書類提出

・UTOL（UTokyo-LMS）からダウンロード、記入のうえアップロード提出すること

- 期限：4月19日（金）
 - 提出先：UTOL（UTokyo-LMS）
- (5) 面接に出席（参加申込者が多数の場合）
- 面接を実施する場合の日時・場所はITC-LMSおよびメールで通知する。
- (6) 事前勉強会・渡航オリエンテーション会合に参加
- 日時：6月7日（金）16:50～18:35
 - 場所：7号館B棟231/232講義室
 - 人数や興味に応じてグループ分けと渡航までの準備を指示
 - グループごとに事前学習および活動計画策定などを実施。
- (7) 事前学習成果および活動計画の最終確認会合に参加（予定）
- 日時：未定（6月7日（金）のオリエンテーション時に参加者に改めて通知する）
 - 場所：未定